

## 5 - 4 東海地方の地殻変動

### Crustal Movements in the Tokai District

国土地理院

Geographical Survey Institute

第1, 2図は, 1989年1月と4月に実施した掛川～御前崎間の水準測量結果である。昨年10～11月以降の変動は小さい。第2図の季節的変動を補正した水準点2595の経年変化(下段)において1989年1月の測量結果が上がり気味である以外は, 長期的な沈降の傾向に乗っている。

第3, 4図は, 静岡県が実施している短距離水準測量の結果である。1988年中水準点2601の変動は, 予測曲線より下にあったが, 1989年に入って以前のように予測曲線上に乗るようになった。水準点10333については, 観測開始以来1年経ったものの, まだはっきりとした傾向は見られない。

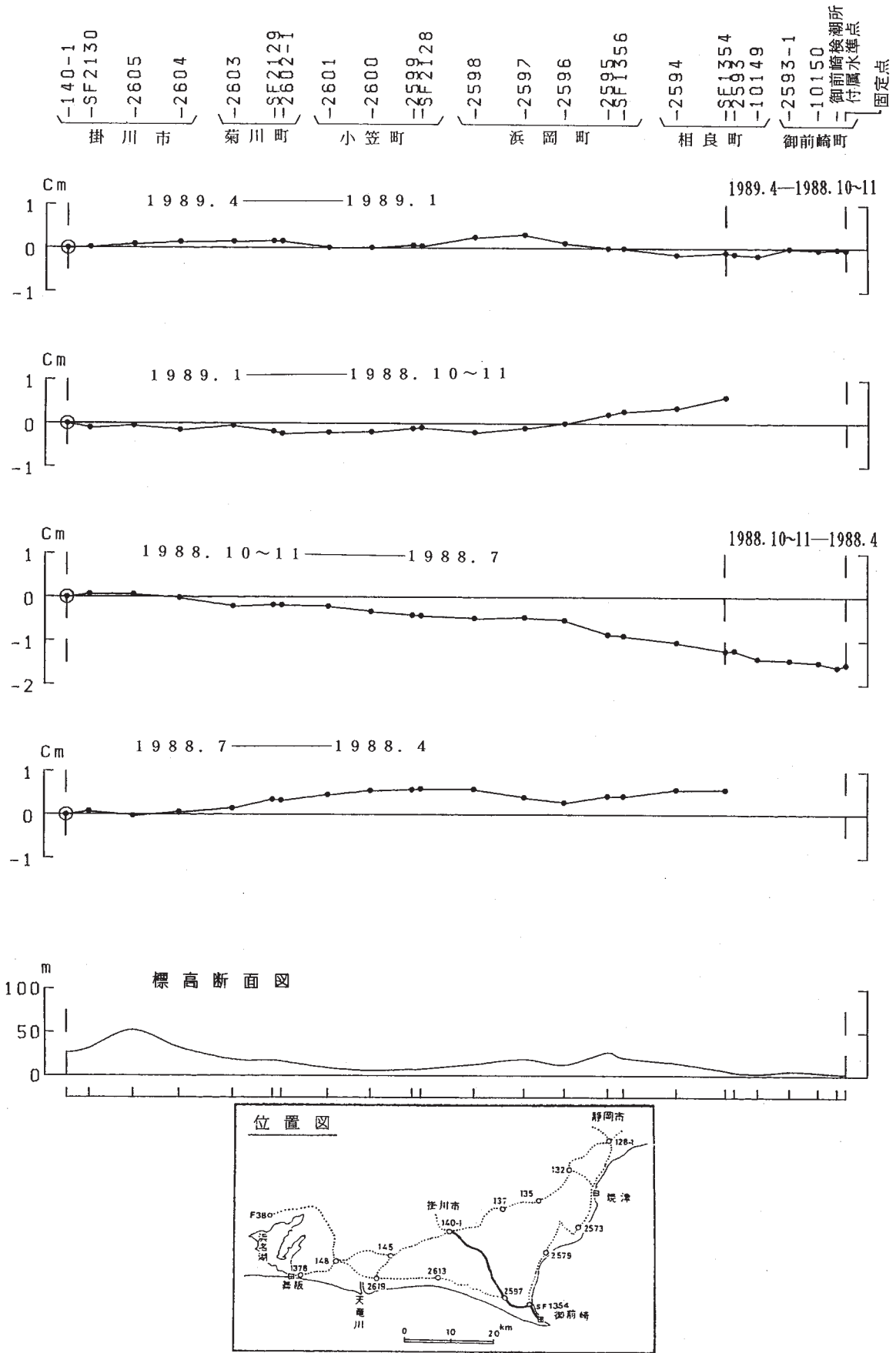
第5, 6図は, 東海地方各験潮場間の月平均潮位差である。御前崎－舞坂の潮位差にやや大きな変化が見られるが, これは舞坂の局所的な変動が原因であろう。御前崎等他の験潮場には, 有意な変化は見られない。

第7図は, 御前崎放射基線測量の結果である。誤差を越えるような変化はない。北北西－南南東縮み, 東北東－西南西伸びの歪が, ここ15年間支配的である。

第8～10図は, 浜松地方の一次基準点測量結果による水平歪である。最近5年間は目立った歪の蓄積はない。1988年の測量と1974年の測量の比較で, 都田村の南側にやや大きな歪がみられる。1974年の測量では都田村の測量が偏心法により行われているために, やや精度が信頼度に欠ける。しかし, 掛川市から浜名湖に至る東西方向にやや歪の大きい地域が存在する。この傾向は, 明治と1988年の測量の比較にも見られることから, この地域特有の歪場である可能性が大きい。今後の推移を見守りたい。

#### 参 考 文 献

- 1) 国土地理院：東海地方の地殻変動, 連絡会報, **38** (1987), 349 - 359.
- 2) 国土地理院：東海地方の地殻変動, 連絡会報, **39** (1988), 246 - 267.
- 3) 国土地理院：東海地方の地殻変動, 連絡会報, **40** (1988), 272 - 282.
- 4) 国土地理院：東海地方の地殻変動, 連絡会報, **41** (1989), 346 - 372.

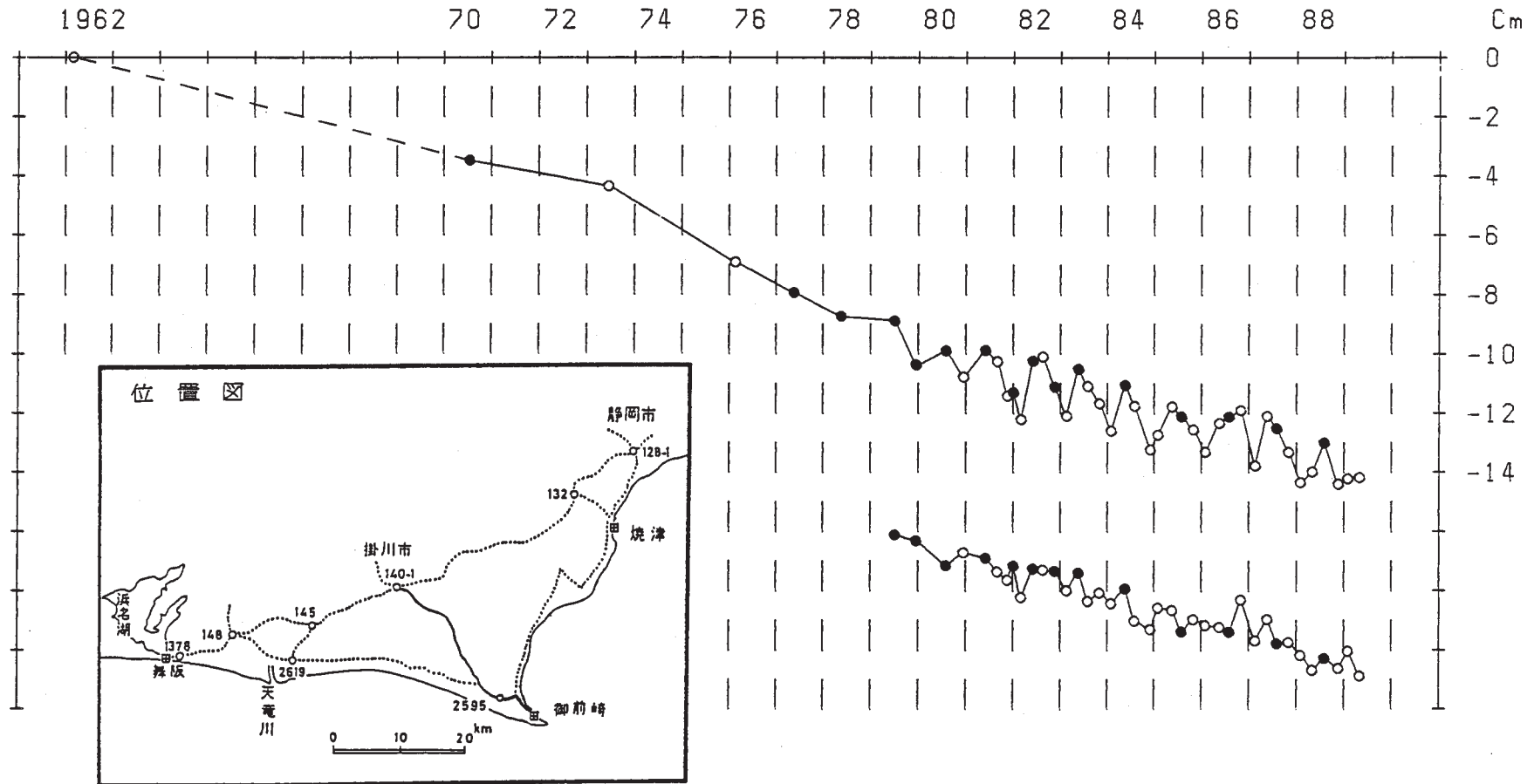


第1図 掛川～御前崎間の上下変動

Fig. 1 Level changes along the route from Kakegawa to Omaezaki.

基準：140-1 基準年：1962

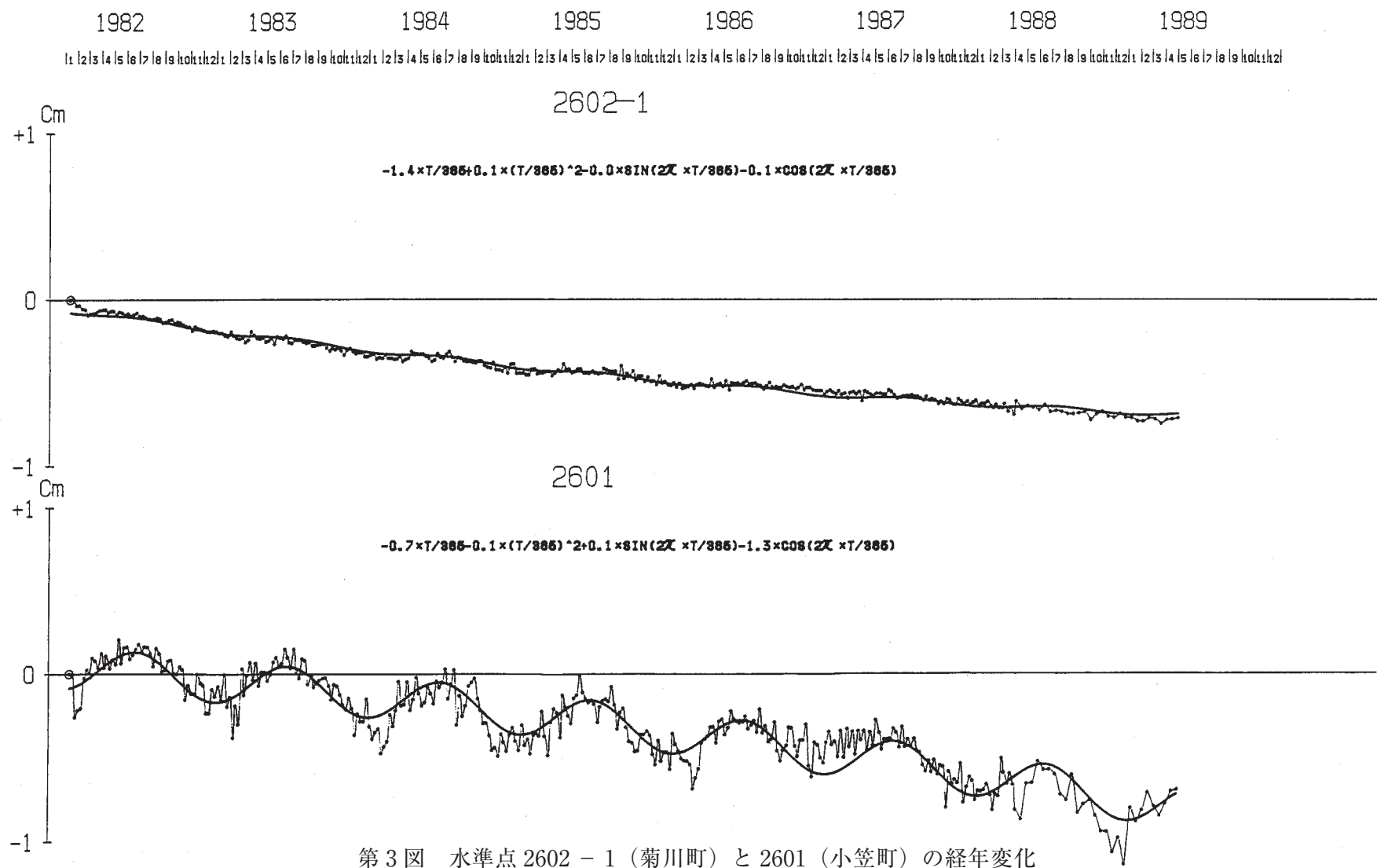
●：網平均計算値による。  
○：突き出し観測値による。



第2図 水準点2595（浜岡町）の経年変化

Fig. 2 Height changes of B.M. 2595 in the Hamaoka Town, relative to B.M. 140-1.

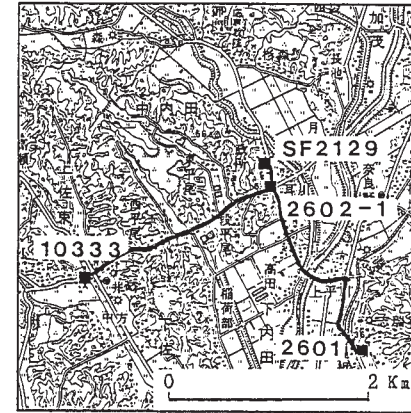
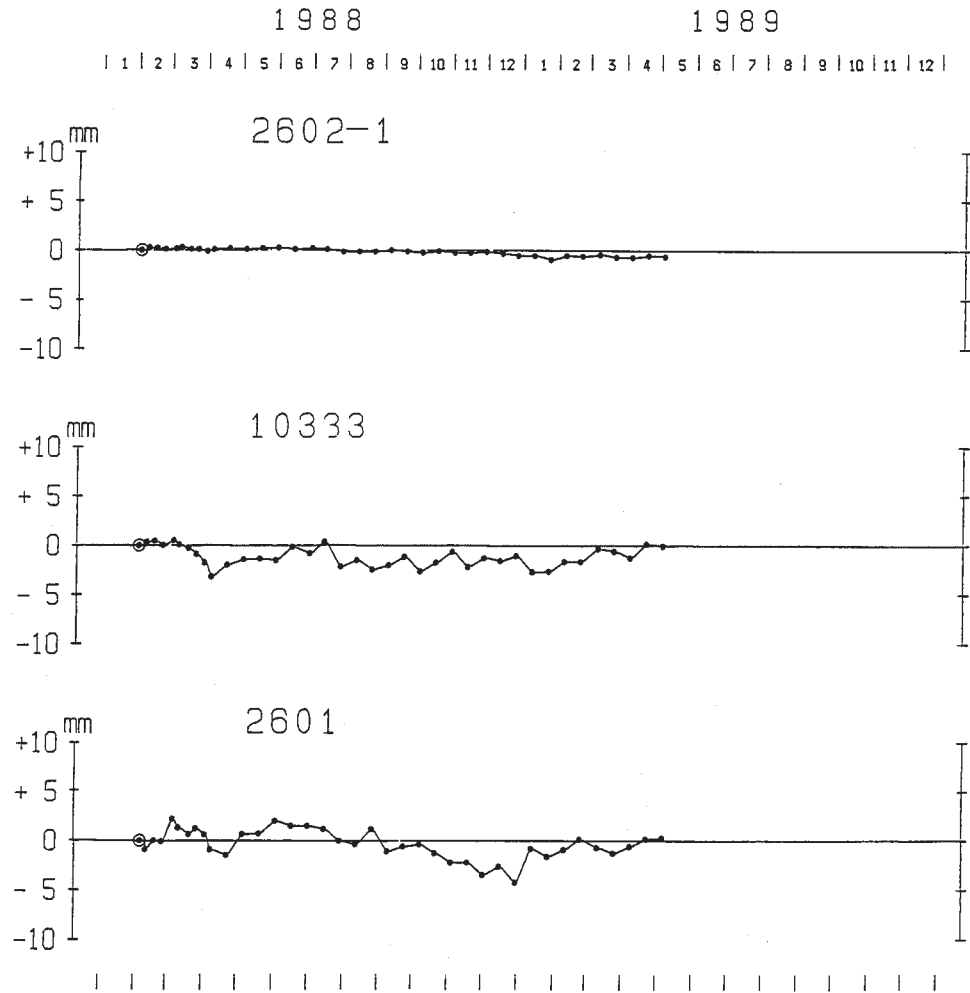
基準：準基 2129



第3図 水準点 2602 - 1 (菊川町) と 2601 (小笠町) の経年変化

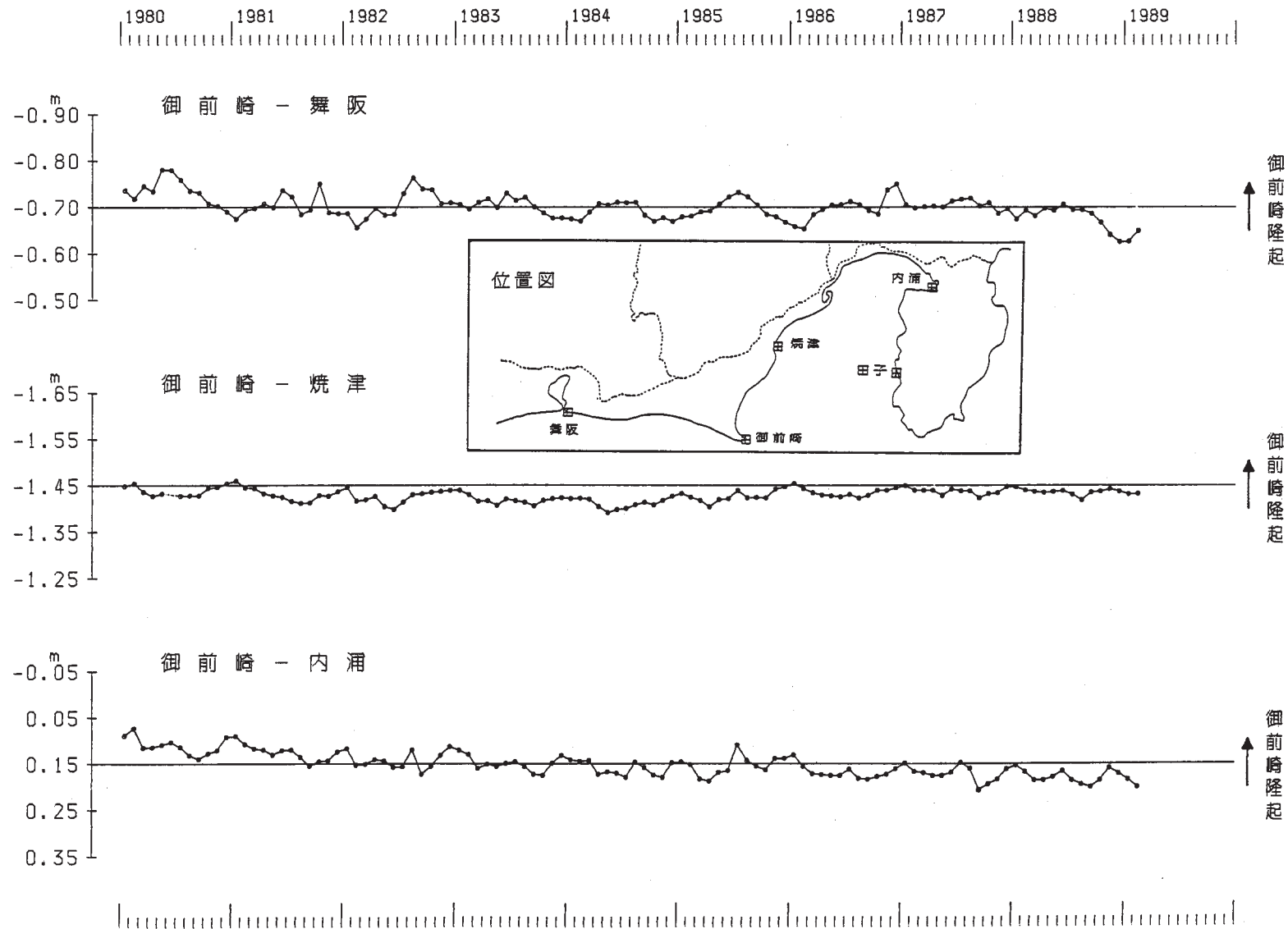
Fig. 3 Height changes of B.M. 2602-1 and B.M. 2601 relative to S.F. 2129, presented by the Prefectural Government of Shizuoka.

基準：準基2129



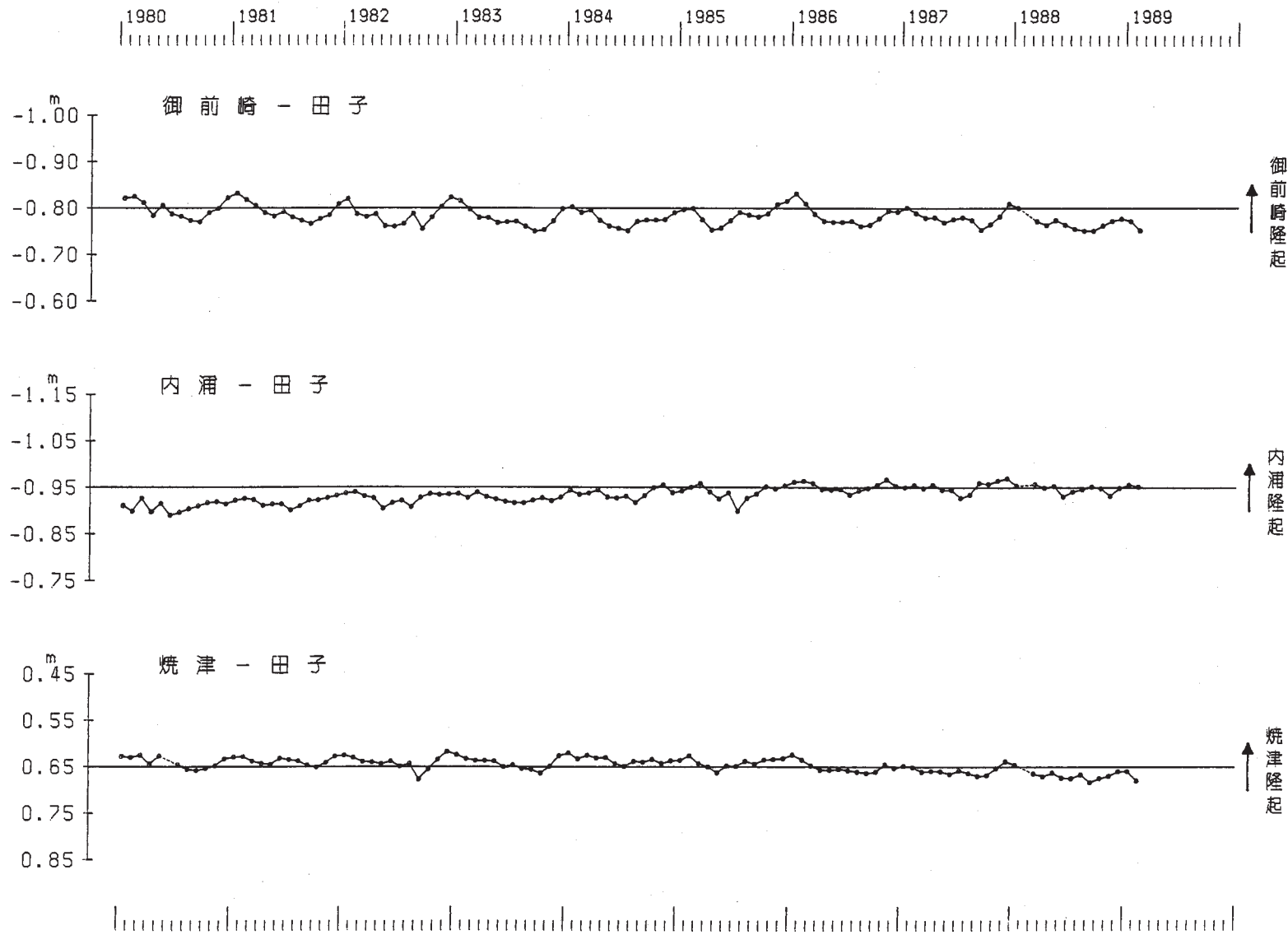
第4図 水準点2602-1, 10333(菊川町)と2601(小笠町)の経年変化

Fig. 4 Height changes of B.M. 2602-1, B.M. 10333 and B.M. 2601 relative to S.F. 2129, presented by the Prefectural Government of Shizuoka.



第5図 東海地方各験潮場間の月平均潮位差 (1)

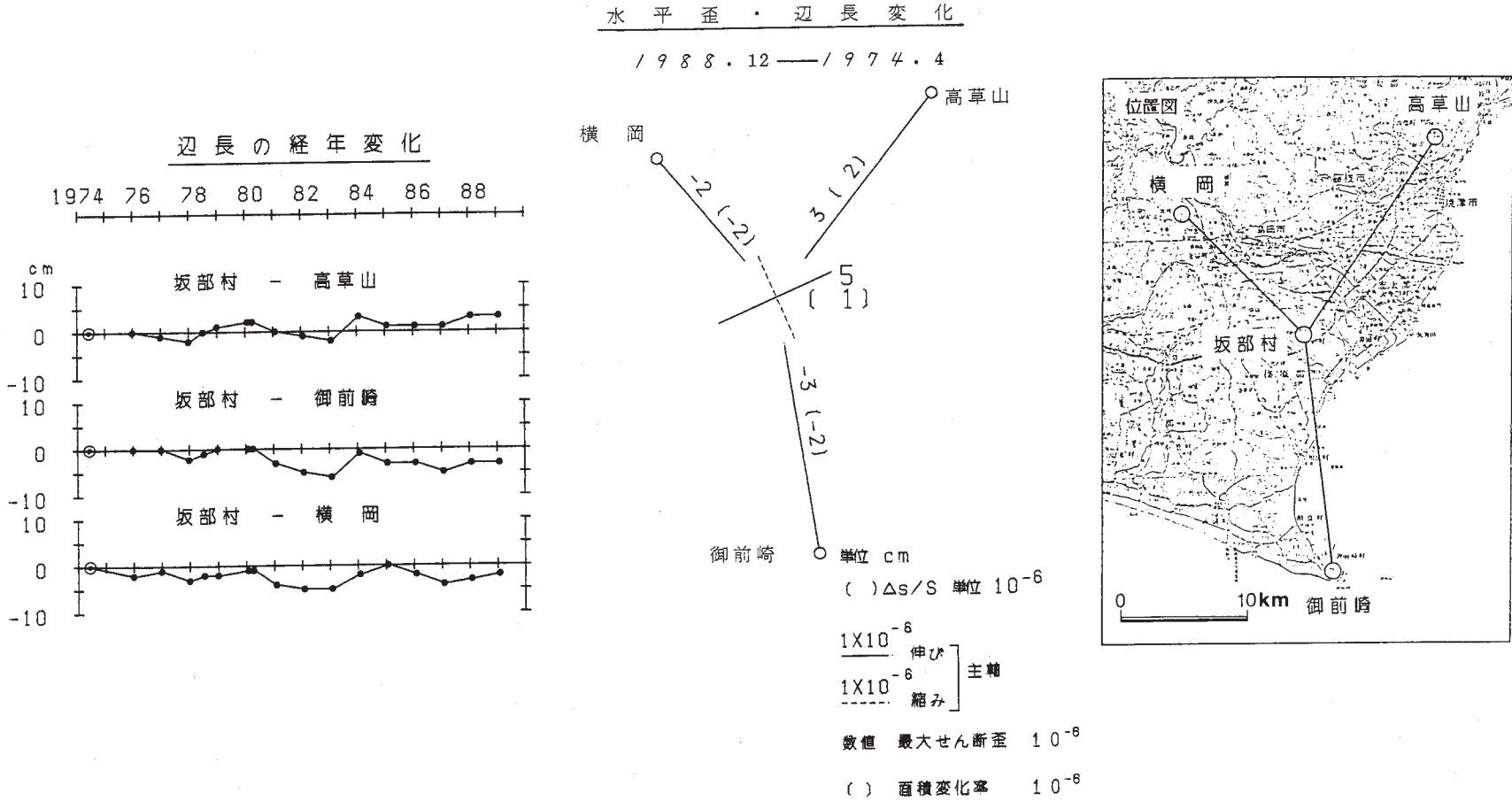
Fig. 5 Differences in monthly mean sea level from tide station pairs in the Tokai district (1).



第6図 東海地方各験潮場間の月平均潮位差 (2)

Fig. 6 Differences in monthly mean sea level from tide station pairs in the Tokai district (2).

測定年月 区 間	1974	75	76	77	78	78	79	80	80	81	82	83	84	85	86	87	88
	. 4	.11	.11	.11	. 5	.11	.12	. 2	.12	.12	.12	.12	.12	.12	.12	.12	.12
坂部村 — 高草山	18335 <sup>m.45</sup>	m.45	m.44	m.43	m.45	m.46	m.47	m.47	m.45	m.44	m.43	m.48	m.46	m.46	m.46	m.48	m.48
坂部村 — 御前崎	18487.72	.72	.72	.70	.71	.72	.72	.72	.69	.67	.66	.71	.69	.69	.67	.69	.69
坂部村 — 横岡	13071.67	.65	.66	.64	.65	.65	.66	.66	.63	.62	.62	.65	.67	.65	.63	.64	.65

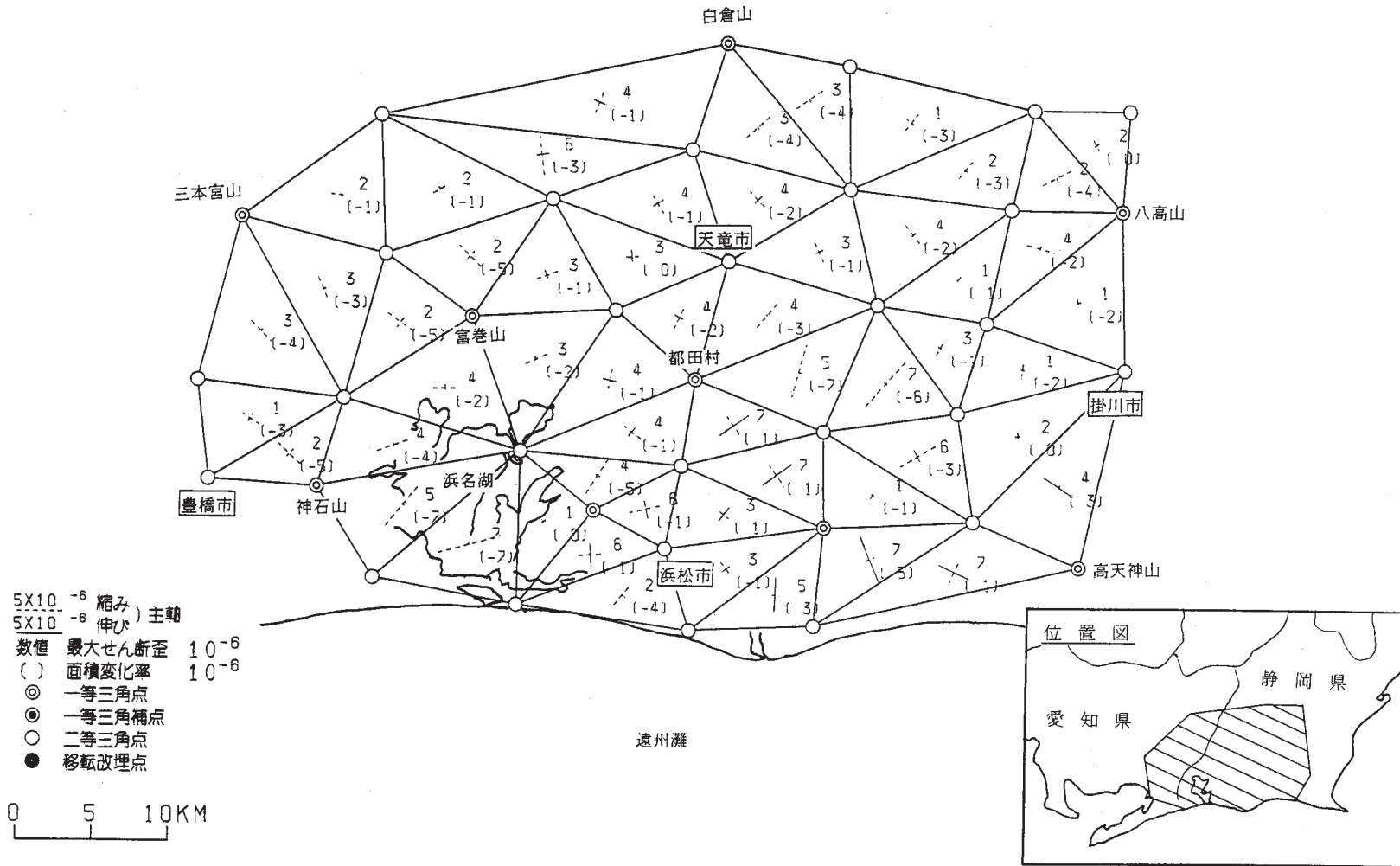


第7図 御前崎精密変歪測量結果

Fig. 7 Results of precise distance measurements in the Omaezaki radial baselines.



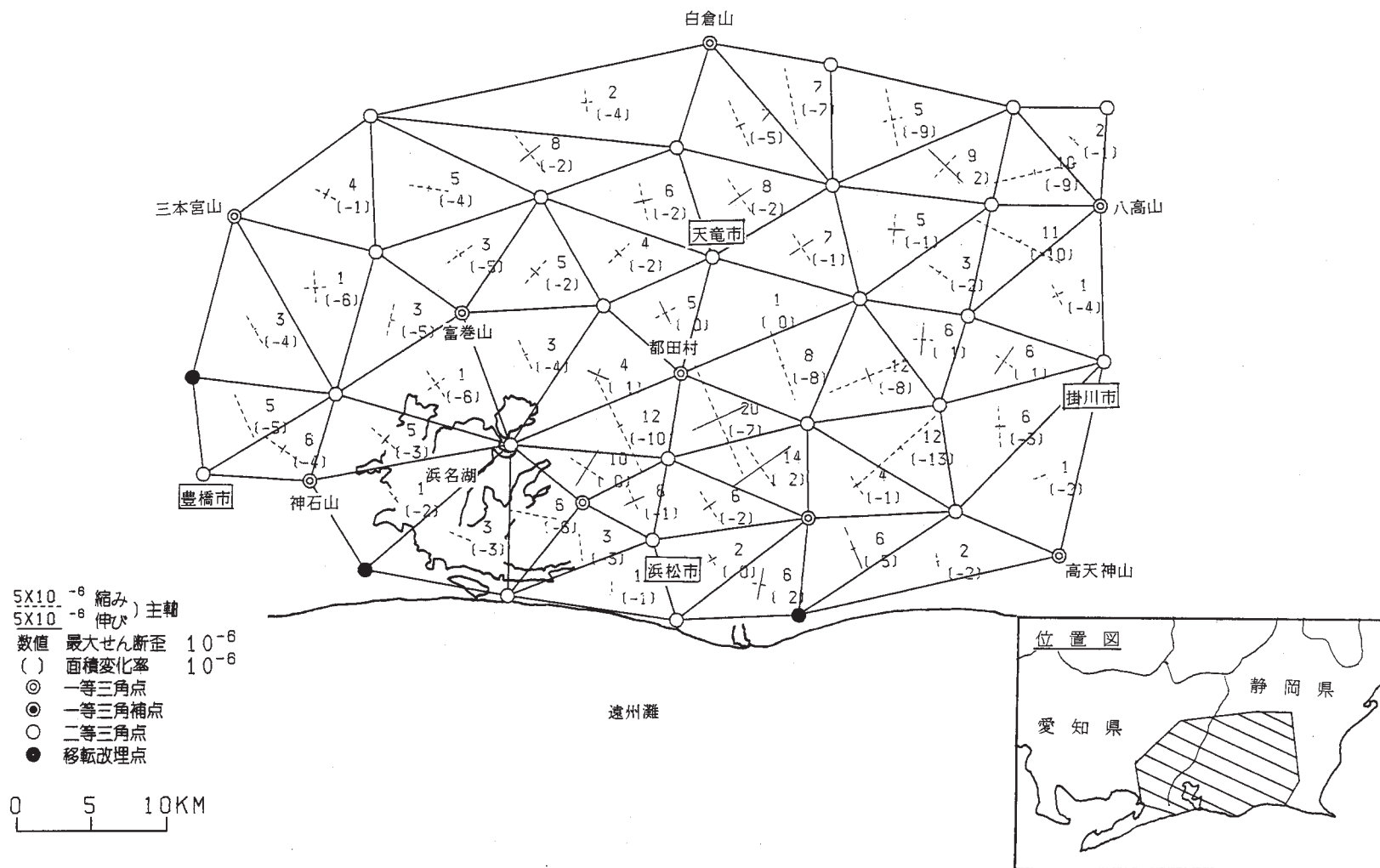
1988-1983  
 (一次網3回目) (一次網2回目)



第8図 浜松地方の水平歪 (1)

Fig. 8 Horizontal strain in the Hamamatsu region (1).

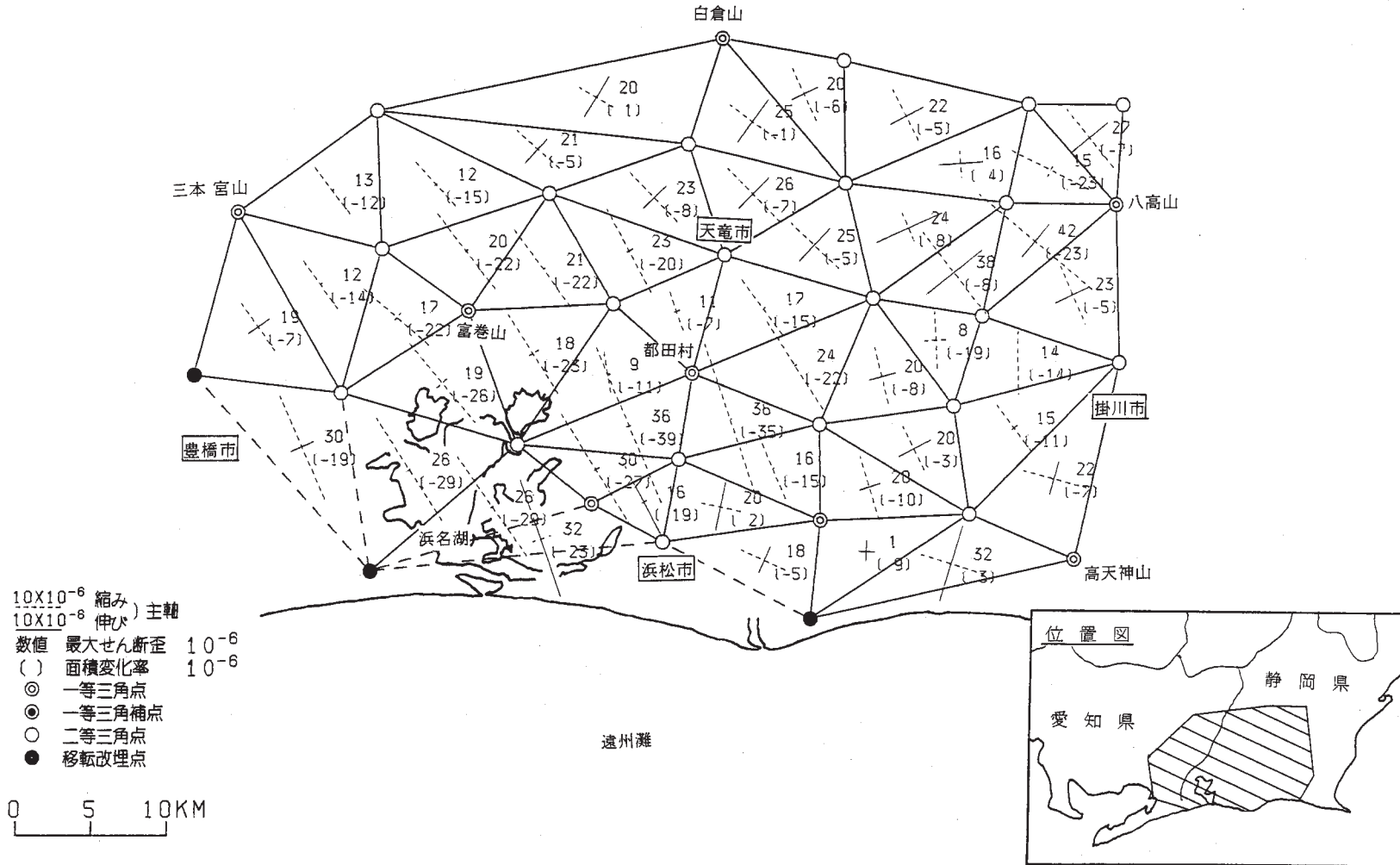
1988-1974  
 (一次網3回目) (一次網1回目)



第9図 浜松地方の水平歪 (2)

Fig. 9 Horizontal strain in the Hamamatsu region (2).

1988-1885~86  
 (一次網3回目) (明治)



第10図 浜松地方の水平歪 (3)

Fig. 10 Horizontal strain in the Hamamatsu region (3).